



発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
大阪市ボランティア・市民活動センター  
住所：〒543-0021  
大阪市天王寺区東高津町 12-10  
大阪市立社会福祉センター内  
Tel：06-6765-4041  
Fax：06-6765-5618

協力 大阪市各区社会福祉協議会

# 方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

## 「タコ」VS「イカ」



正月に大空に揚げるもの。みなさんは、何と言いますか？タコ、イカ、テンバタ、ハタ（ハダ）と、色々な答えが飛び交いそうですね。

江戸時代に編まれた日本最初の方言辞典である『物類称呼（ぶつるいしょうこ）』には、「いかのぼり 畿内にていかと云 関東にてたこといふ」と記載されています。どうも江戸時代は、「いかのぼり」が標準的な言い方だったようです。そして、タコとイカで東西差があったようで、この対

立は明治以降も維持されていました。

でも、東北はタコでもイカでもなく、天狗でした。実は東北で使われるテンバタの語源は「天狗旗」だと考えられています。天狗は背中の翼で飛行することができますから、なお、ここでいう「旗（ハタ）」は幟のことです。

空を飛ぶことに注目して天狗を連想した東北と尻尾のついた形状に注目してイカとタコを連想した関西と関東。さて、みなさんは、どの連想がお好みですか？

### 【方言募集】

※方言に関するご質問・ご意見をお寄せください。  
住所：〒567-8502 大阪府茨木市西安威 2-1-15 追手門学院大学  
E-mail：yukushib@otemon.ac.jp  
追手門学院大学国際教養学部講師 櫛引祐希子

### 東日本大震災「こころのケア」ボランティア支援

## 被災者・ご家族向け 訪問カウンセリング



「よく眠れない」  
「なんとなく気がふさぐ」  
「慣れない土地で話し相手がない」  
「将来に不安がある」など  
ひとりで悩まず、どんなことでもご相談ください。

日本産業カウンセラー協会 同問合せ・ご利用申込み  
※相談は無料。プライバシーは固く守られます。 **06(4963)2357**

## お引越しのあと...



情報誌「IMONIKAI」も挿入されている「ホットネットおおさか定期便」が迷子にならないために...

## 引き続き 郵送を希望される方は



大阪市ボランティア・市民活動センターまで

## 電話かメールで、ご連絡ください

編集後記 九州のばあちゃんは、おもちゃ作りの名人でした。白い割ぼうを着て、粉のついた左手の人差し指と親指で、にゅつとおもちのたこ入道を作ったと思ったら、ころんとちぎります。両手でくるくるなでなでした後、ころんと丸いびかぴかのおもちが、ぶ厚いしわしわの手から出てくるのがおもしろくて、ずっと見ていたのを覚えています。「ばあちゃんはもち作りの名人」と何度も言う父に褒められたくて、私ももち作りの名人になりたいと思ったものでした。（あかほし）

あかほし & おもちり

## 訪問相談の お申込みはこちらまで



細分化・深刻化する避難者の問題や悩みをふまえ、よりていねいな個別対応が必要と考えた関西4つの支援団体が、2015年夏から訪問相談を始めました。  
申込まれた方のお家を訪問します。  
「ちょっと家は…」という方は、近所の公共の場でも大丈夫です。  
ご希望の方は、下記までご連絡ください。

まるつと西日本（大阪・兵庫・和歌山）  
☎ 080-4484-0298  
✉ maruttonishi@gmail.com

NPO 法人 和（京都）  
☎ 075-353-5181

東日本大震災滋賀県内避難者の会（滋賀）  
☎ 090-5154-0767

奈良県被災者の会（奈良）  
☎ 050-3636-7132

### 問合せ 申込み

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10  
TEL：06-6765-4041 / FAX：06-6765-5618  
Email：imonikai@osakacity-vnet.or.jp（担当：赤星・大森）  
《利用時間》 月～金曜 9：30～20：30  
土曜 9：30～17：00（日曜・祝日及び年末年始休館）

☆情報紙 IMONIKAI は毎月1日発行です。  
情報掲載希望の方は、2か月前までにご連絡下さい

## 避難者同士、避難者と 支援者がつながる場

## ホットネットおおさか定例会 報告

ホットネットおおさかは、2ヶ月に1回大阪弁護士会館で、支援における意見交換をするために定例会を開いています。

11月27日の定例会では、東日本大震災滋賀県内避難者の会から訪問相談活動について、京都に避難している被災者から、復興庁の情報支援事業説明会支援についての報告がありました。

### 我慢せずに連絡を 滋賀

東日本大震災滋賀県内避難者の会は、2015年夏から、滋賀県内で訪問相談活動を行っています。支援活動のよりどころとなっているのは、避難者が自主的に教えてくれる連絡先か、避難者情報登録システムに基づく情報です。

4年半が経ち、子どもの成長に伴う進学、離れて暮らす親の高齢化による介護の問題で、避難元に戻るべきか迷っている人も少なくないと、報告がありました。迷いや悩みの原因として、公的支援の縮小も大きく影響していると、同会では見えています。一方で、滋賀県内に住む避難者のうち4割は、関西に永住、または10年以上住み続けるという意思表示しており、中でも子どものいる世帯は、「子どもが自ら判断できるときまで関西で」と考える保護者が多いということです。

誰もが初めて経験する避難生活、そのストレスはとてつもないと、報告がありました。傾向として、身動きが取れなくなる程まで困らないと声をあげな

くなってきています。どうにもならなくなるまで我慢せず、少しでも早く連絡してきてほしいと話しました。

### わかりあうために話し合いを 京都

今年度、近畿圏内の復興庁による情報支援事業説明会は、京都で行われています。その説明会に参加した、京都に避難している方からの報告がありました。「言っても言っても変わらず平行線」で「国、県、東電の意向がよくわかる」と話しました。ポタンの賭け違いで生まれる不信感。それでも元気な者が声をあげていこうという思いで、できる限り参加しているということです。

当事者と支援者の間でも、「なぜ避難をしているのか？」を忘れずに、互いにきっちり話し合うことが大切だと話しました。その人自身が立ち上げられる力を持っています。そのためには、開かずの間に入れてしまった心のおりを出せる場が重要、と提言をしました。

## ホットネットおおさか （大阪府下避難者支援団体等連絡協議会）とは...

東日本大震災により、大阪府内に避難している方々が、府内のどこでも必要な支援をうけられ、主体的な生活が送れるよう、2012年5月に発足した支援団体のネットワークです。現在、104団体が登録しています。

定例会では、避難生活の情報を話しあうとともに、避難者の皆さんからの報告や問題提起を大切に、支援活動に活かしています。みなさんのご参加をお待ちしています。

## 団体でも 個人でも！

ご参加ください

### 次回 ホットネットおおさか 定例会

日時：1月15日(金)  
13:30～16:00  
場所：大阪弁護士会館 2階





ホッとネットおおさか登録団体を、毎月一団体ずつご紹介しします。

## 東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream (サンドリ)

避難者の「今」を伝える当事者団体

はじめまして「サンドリ」です。  
 東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream (サンドリ) とは、避難者が主体的に活動し、お支え下さる方々へ感謝することを忘れず、避難者の「今」を真摯にお伝えすることによって、社会貢献につながる活動を自発的・能動的に行う3.11 避難当事者団体です。

3.11 から間もなく丸5年が経過します。  
 「今、私たちにできること」「今、私たちがすべきこと」は何なのか、主体的に考えた避難者がチームを結成し、機会を頂いた折に、適宜「避難者にとって今、最も必要であると思われること」を見つけて活動しています。

これまで支えてくださった皆さまとのつながりを大切に、感謝の気持ちをお伝えしたい、被災の教訓を活かし、今後の防災、減災、および災害時における人権擁護の観点から、避難するという選択肢を選んだ私たちだからこそ伝えられる事も あるのかもしれない、と考えました。広く一般の方々に災害による避難者の実情を まずは「知ってもらう」ことから始めよう！との思いで、より多くの方々とつながって発信を続けています。

私達 3.11 避難者自身も、置かれている立場や状況をきちんと客観的に「学び」つつ、自分たちの体験を含め、検証、発信することで、社会の理解を深め、今後の災害

時への対応をとともに考えていけるような社会貢献につながればと願っています。

また、発信することで、風化を防ぎ、孤立している避難者の発掘にもなることで、長期化する災害避難民の心の健康の一助となれば幸いです。災害時における「人権の尊重」のとりくみにもなればと思っています。

避難者の「今」現在置かれている状況を より多くの方々に「知ってもらう」という活動が中心となります。

また、これらの活動を通じて、災害避難者ひとりひとりの尊厳を守り、本当の意味での「復興」、被災からの立ち直りにつながることを願っています。

「今」避難者に必要なことを第一に考えて、多くの方のサポートやご助言を得ながら、有志のメンバー（避難当事者）が無理のない範囲でとりくみを進めています。ご興味、ご関心のある方は、ぜひお気軽にご参加ください。

サンドリは、いつでもどこからでも主体的な 3.11 避難当事者のご参加を心からお待ちしています。



2015 高槻ジャズストリート『社会貢献のひろば』ブース出店

ご招待

### 豊臣期～徳川期の「大坂出土の貿易陶磁」

世界的にも消費・生産・流通の大都市として発展を遂げた近世大坂。旺盛な消費活動は鎖国制度のもとでも発揮され、海外からさまざまな品物を輸入しました。陶磁器もそのひとつで、これらは貿易陶磁と呼ばれています。今回は、大坂城下町跡や大坂城跡で見つかった外国産の陶磁器を展示、大坂とさまざまな国や地域とのかかわりを紹介します。



中国景徳鎮窯青花磁器芙蓉手鉢

会 期：1月6日(水)～2月15日(月)  
 9:30～17:00  
 ※ 入館は閉館30分前まで

休館日：火曜日

場 所：大阪歴史博物館 8階・特集展示室  
 (地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅2号9号出口)

ご招待：3組6人(抽選)

締 切：1月27日(水) 正午  
 ※ 当選の場合は、1月29日頃に、チケットを発送します。

ご招待

### 迫力ある上質の舞台 オペラ「口はロボットの口」

幼児から参加でき、子どもから大人まで、笑いあり涙ありのとても心揺さぶる素敵な作品。  
 ピアノの生演奏でお話が展開し、思わず歌いたくなるオペラ。子ども達は、舞台上のちょっとまぬけな主人公に心を重ね、冒険の旅に出て優しく強くなる姿を疑似体験してくれることでしょう。心から笑って楽しいひと時を共有しませんか。(詳細は同封のチラシをご覧ください)



日 時：2月21日(日) 開演 13:30 (開場 13:00)  
 上演時間 約130分(休憩含む)

場 所：大阪国際交流センター  
 (地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅10番出口より 徒歩5分  
 または、近鉄「大阪上本町」駅14番出口より 徒歩5分)

出 演：オペラシアターこんにゃく座  
 主 催：NPO 法人 子どもセンターあさひ

ご招待：親子50人  
 締 切：2月8日(月) 午前中  
 ※ 当選の場合は、2月10日頃に、チケットを発送します。

ご招待 へのお申込みは...



大阪市ボランティア・市民活動センター(担当：赤星・大森)  
 (電話・メールにて。全員の名前・住所・TEL を添えて)

どしどし応募してね!

交流会

### 2月 Café IMONIKAIのご案内

毎月開催の交流会☆お茶を飲みながら、みんなでゆったりお話ししましょう。途中参加、途中退室は自由です。当日参加も大歓迎です。



日時：2月23日(火)  
 10:00～15:00 ※昼食は各自でご用意ください。

場所：大阪市立社会福祉センター 3階  
 (地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄「大阪上本町」駅11番出口)

変更しました

第4水曜日

第4火曜日



まちがえなないでね

募集

### 避難者の「声」を届けませんか？ 避難者の「声」大募集！！

昨年同様、阪急梅田三番街の会場で、3月1日～11日、避難者の「声」の展示会を行います。現状を少しでも多くの人に知ってもらい、風化を防ぎましょう。あなたの想いを伝えませんか？



募集作品：手記、俳句、絵画、図工など  
 ※ 特に形は問いません。得意分野の表現方法でOK。  
 ※ 作品は返品できません。また、出版物に掲載される可能性もあります。予めご了承ください。

作品受付：メールか郵送にてお送りください。  
 Email: sandori2014@gmail.com  
 住 所：〒537-0047 大阪市北区西天満 2-8-1  
 大江ビル 405号 長野総合法律事務所気付  
 東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream  
 「5周年企画@梅田 避難者の作品」係

締 切：2月15日(月)  
 ※ 受付後、東日本大震災避難者の会 Thanks & Dreamより連絡をします。

連絡先



東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream

E-mail: sandori2014@gmail.com ブログ: http://sandori2014.blog.fc2.com/

### 怒りたいけど...



怒るのがすごく苦手で、抗議をしたいと思っても言葉にする勇気がありません。いつもじっと我慢してしまい、自分は無力だと、いやになります。



怒れないのは無力ではなく相手の立場を考慮する事が出来る優しい心の持ち主だからです。ただ、あなたの心を穏やかにする為に、まず相手の心の動きに着目し共感してみてください。

抗議をするのではなく、何故相手がそのようなトゲのある事を言ったのかを考え、敢えて一度飲み込みます。相手は「受け入れてくれた」と思い、自分を理解してくれた人に嫌な事を言おうとはしなくなります。それでもうまく気持ちが通じ合わない相手であれば、少し距離を置くのも良いのではないのでしょうか。(「精神対話士の人の話を聞く技術」財団法人メンタルケア協会編より)

一般財団法人 メンタルケア協会 精神対話士 三石 弘美